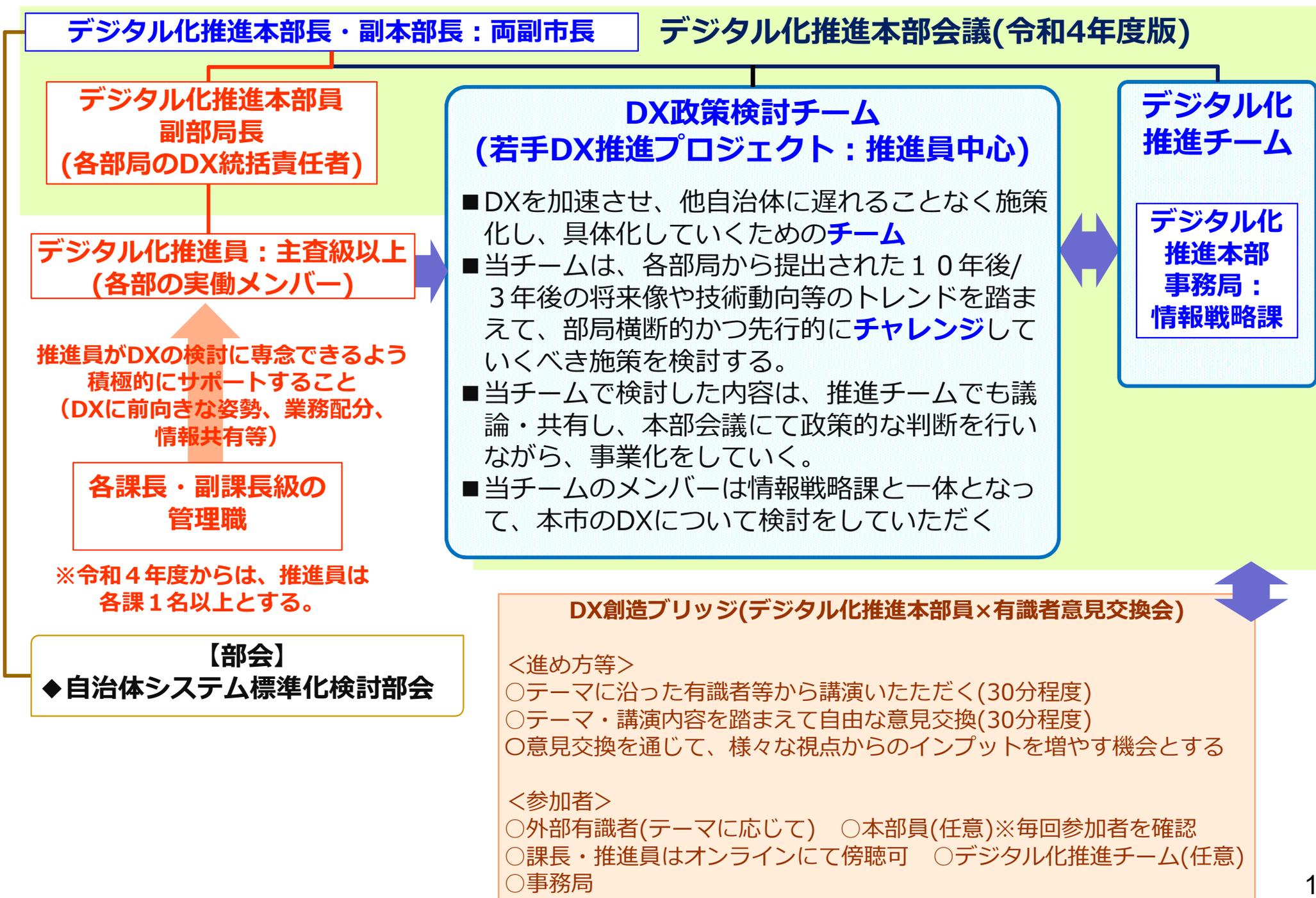


【資料2】 令和4年度のDX推進体制と 取組等について

デジタル化推進本部事務局
(総務部 情報戦略課)

(1) 令和4年度の体制



(2)意識していただきたい視点について

デジタル化推進本部長・副本部長：両副市長

デジタル化推進本部長：副部長 各部署のDX統括責任者

- 各部署におけるDXのリーダーである。令和3年9月30日に実施したデジタル化推進員研修で提示した「DX成功に向けた心得(参考資料6)」を改めて意識していただきたい。
- 国の動向、デジタル技術の動向等を踏まえ、10年後の将来像/3年後の将来像を常に更新していく意識をもっていただき、各年度において実施すべき事項を明確にしていきたい。
- また、市全体のDX推進に向けて、担当部署以外にも目を向け、全庁を俯瞰して幅広い発想や提言をいただきたい。

デジタル化推進員：主査級以上 各部署の実働メンバー

※各課に配置する推進員の人数は部署内・課内での判断にお任せいたします。少なくとも各課1名は配置。

- 部署の10年後の将来像/3年後の将来像を踏まえ、各課におけるDXの推進に向けたアイデアの提案。
- 研修や各種セミナー、関係府省庁・民間企業等の動向の把握をしていただきたい。
- 特に、関係府省庁の動向(補助金や実証事業等について)については把握をしていただきたい。

積極的なサポート

各課長・副課長級の管理職

- 令和3年9月30日に実施したデジタル化推進員研修で提示した「DX成功に向けた心得」を改めて意識していただきたい。
- 国の動向、デジタル技術の動向等を踏まえ、DXに関する取組に否定的になることなく、推進員のアイデアや日頃の疑問を前向きに捉え、業務経験から、検討内容を洗練・昇華いただきたい。
- 部署の10年後の将来像/3年後の将来像を念頭に、各課で実施すべきDXの方向性やマイルストーン(いつまでに何をやるか)を明示し、それらを意識しながら、各種取組を着実に実施していただきたい。
- DXの検討は本来業務であり、課員の業務が平準化されるように、業務分担を示していただきたい。
- 特に、関係府省庁の動向(補助金や実証事業等について)を把握し、活用可能性等を意識していただくよう、アンテナを高くしていただきたい。

(3) デジタル化推進チームについて

① 体制

【企画政策部】

- ・ 企画課：後期実践計画等との関連性や地方創生交付金等の活用について
- ・ 財政課：当初予算や補正予算における予算化について
- ・ 未来都市推進課：つながる社会実証推進協議会をはじめとする民間企業等との連携について

【総務部】

- ・ 行政改革推進課：地域経営戦略プランとの連携について
- ・ 情報システム課：導入を検討している技術、庁内インフラ環境等について
- ・ 人事課：デジタル化を踏まえた働き方や人材育成等について
- ・ 法務課：DX推進における個人情報保護など条例などとの連携等について
- ・ 情報戦略課：全体統括・DX関連の国庫補助対応等について

【外部人材】

- ・ 内閣府デジタル専門人材：各部局の課題に資する技術等の提案について

② 役割等について(詳細は資料4を素案として推進チームで検討中)

自ら実践

○推進チーム各課がペーパーレス、業務改善、電子申請、オープンデータなどのDXにつながる取り組みを積極的に実施していく。

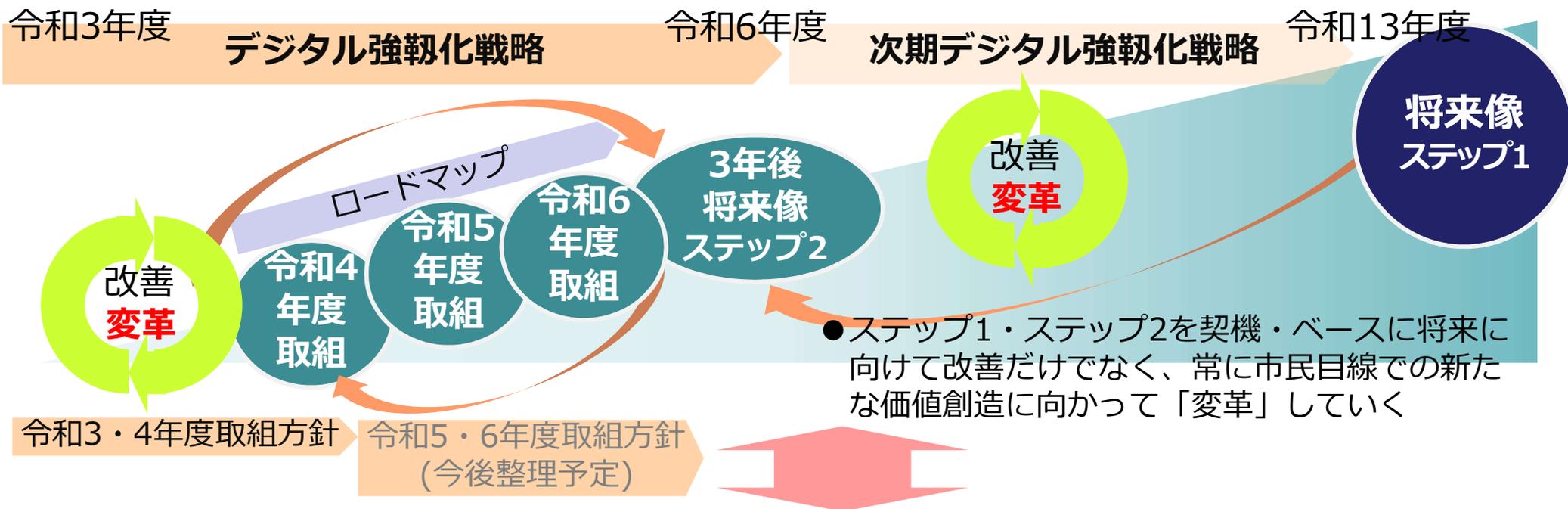
課題解消

○将来像の実現をはじめ、DXの推進において庁内横断的に課題・ハードルとなっている事項の解決につながる方針・施策などを検討・提示していく。

提案

○将来像、日々の相談事項などを着実に実現につなげていくためには、推進チーム側からもしっかりと提案・アイデア出しをしていく。

○引き続き、デジタル強靱化戦略(改)に基づき、DX推進のための取組を中断なく実施していく。
 ○具体的には、令和3・4年度取組方針と将来像の実現に向けて全庁一丸となって取り組んでいく。
 ○また、デジタル化推進チームとして昨年度の振り返り(反省)を踏まえ、各部室局がDXを推進していくために必要な整理を進めていく。



<デジタル強靱化戦略(改)>
 ○豊田市のDXの目的・戦略の役割
 ○10年後に実現・実感したい変化(ゴールイメージ)
 ⇒8総の将来都市像の実現
 ○豊田市のDXの定義
 ○職員のDX行動指針

◆全庁が共通認識・共有するゴール

各部室局が描く将来像

- 10年後の将来像
- 3年後の将来像
- ロードマップ

◆部局内で共通認識・共有するゴール

◎必要なエッセンスを自部室局に反映

関係府省庁の方針
 関係府省庁の予算

令和3～4年度におけるデジタル施策の全庁取組方針

内部事務の一貫したDX・各プロセス連携の強化を図るため、令和3～4年度（デジタル強靱化戦略におけるフェーズ1）は、市役所の基礎的なデジタル施策の推進・実現を強化し、DXの入り口となる『**インプットのデジタル化**』を推進する。

- 取組方針1：各種手続の電子申請化
- 取組方針2：支払手続のキャッシュレス化
- 取組方針3：オープンデータの推進及びデータ活用

《令和5年度以降（強靱化戦略におけるフェーズ2・3）を見据えて進める研究・取組》

- 内部事務の一貫したDX（デジタルトランスフォーメーション）
文書管理、契約手続、会計手続、データ管理、データ連携 等
⇒各プロセスの連携
- デジタル強靱化戦略において「ミライのフツ－をつくろう」に位置付けた各種事業の推進

